

通し番号	5245
------	------

分類番号	R06-35-16-03
------	--------------

県西地域のキウイフルーツほ場における生育不良・枯死の原因究明	
[要約] 県西地域のキウイフルーツほ場で発生している生育不良や立枯れの主な原因はキウイフルーツ根腐病である。	
神奈川県農業技術センター・足柄地区事務所	連絡先 0465-29-0506

[背景・ねらい]

県西地域のキウイフルーツほ場において、生育不良や立枯れが発生しているが、原因は特定されていない(図1)。想定される原因のうち、キウイフルーツ根腐病は県内未発生のため、県西地域での発生状況を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1 生育不良等衰弱した樹の根および周辺土壌からキウイフルーツ根腐病菌が高率に分離される。分離される2菌種のうち、*Pythium helicoides*が約8割を占め、*Pythium vexans*は比較的少ない(表1)。
- 2 県西地域のキウイフルーツほ場で発生している苗木の生育不良や枯死の主な原因は、キウイフルーツ根腐病である。本病は、県内で初の発生である。
- 3 罹病樹では、根部が腐敗し、根から地際部にかけて褐変症状が認められる(図2)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 キウイフルーツ根腐病に対する農薬登録はない(2025年4月現在)。
- 2 根腐病耐性の強いシマサルナシを台木にすることで、発生を低減することができる。
- 3 本病は、地下水水位が高い水田や過湿な果樹園で発生が助長されるため、被害の拡大を防ぐためには、暗きょや明きょの設置など排水環境の改善が有効である。

[具体的データ]



図1 県西地域で発生しているキウイフルーツ立枯れ症状



図2 キウイフルーツ根腐病罹病樹根部の褐変状況

表1 県西地域のキウイフルーツほ場におけるキウイフルーツ根腐病菌分離状況

年度	サンプル採集 地点数	サンプル	分離方法	キウイフルーツ根腐病菌	
				<i>Pythium helicoides</i> 分離地点数	<i>Pythium vexans</i> 分離地点数
2021	5	土壌	ベイト法	0	0
2022	5	土壌	ベイト法	2	0
2023	9	土壌	ベイト法	3	4
2024	12	根	常法	12	0
計	31			17	4

[資料名] 令和3、4、5、6年度試験研究成績書(カンキツ)

[研究課題名] キウイフルーツ根腐病の発生状況調査

[研究期間] 2021(令和3)年度～2024(令和6)年度

[研究者担当名] 川田 祐輔

[協力・分担関係] 農業技術センター足柄地区事務所普及指導課